

林小学校だより

「進んで学ぶ子ども」「思いやりのある子ども」「たくましい子ども」

令和8年7月17日

第5号

所沢市立林小学校
校長 仲田 智宏

輝く夏休み、親子で地域の夏祭りへ

保護者の皆様、地域の皆様の温かいご支援に支えられ、1学期の終業式を迎えることができました。この数ヶ月間、子どもたちは勉強に運動に、一人一人が自分の目標に向かって本当によく頑張り、大きく成長してくれました。心から拍手を送りたいと思います。

さあ、いよいよ子どもたちが待ちに待った夏休みが始まります。今年の夏、私がみんなに贈るテーマは「親子で地域の夏祭りにいこう」です。林小学校の周りでは、夏休みのスタートと同時に、ワクワクするお祭りが続々と開催されます！

7月24日（金）「子どもたちの文化の祭典」

（会場：三ヶ島中学校 15：00～19：00）

【主催：三ヶ島3校CS】 モルック、ヨーヨー釣り、メダカすくい、ポップコーン、缶バッジ製作、エアートランポリン、自転車の安全な試乗体験など楽しい催し物が満載！体育館のステージでは合唱やダンス、体操の発表もあります！

7月25日（土）「林神社天王様（夏祭り）」

（16：30 出発式）

【ここが見どころ！】 17：00にお神輿と山車が出発！「林お囃子連」の皆さんが山車の上で音を絶やすことなくお神輿に同行し、お祭りを盛り上げます。18：15頃には「林センター」にしばらく留まるため、ここが一番の注目スポットです！

■ 地域の祭りを味わい、全国の文化へ

7月24日の文化の祭典を皮切りに始まるこれらのお祭りは、地域の方々が「子どもたちの笑顔のために」と心を込めて準備してくださったものです。先月学校で触れたお囃子の音色を、今度は街の中で、本物の熱気と共に親子でたっぷり体感してください。林小のみんなでこの「天王様」に足を運び、地域の伝統に触れながら、この夏をみんなで元気に、安全に乗り切りましょう。

まずは自分たちの地域の祭りを体験し、もし夏休みに出かける機会があれば、ぜひその行く先々の地域の祭りや文化にも触れてみてください。日本中にある「ふるさとの音」を感じることは、子どもたちの心を豊かに育てる最高の体験になります。

■ 事故なく、安全で最高の夏休みを

最後になりますが、一番大切なものは「命」です。熱中症にはくれぐれも気をつけ、交通事故や水の事故などに遭わないよう、自分で考えて安全に行動してください。

きらきら輝く最高の思い出をたくさん作って、また2学期の始業式に元気に会えることを楽しみにしています。保護者・地域の皆様、1学期間本当にありがとうございました。どうぞ安全で楽しい夏休みをお過ごしください。

特別なイベントより、大切な「心の充電」

「せっかくの長い休みだから、どこかへ連れて行かなきゃ、体験させなきゃ……」とお家の方が焦る必要はありません。子どもたちにとって、一番のエネルギー源は「家庭での安心感」です。3食きちんと食べ、決まった時間に眠る。そんな何気ない日常の繰り返しこそが、子どもの心を安定させます。

ほんの少しの時間でも、「今日のご飯、おいしいね」「夕方、少し散歩に行こうか」といった、ささやかな団らん時間を意識してみてください。また、一つだけで良いので「お風呂掃除」「靴並べ」などのお手伝いを任せるのもおすすめです。「役に立てた！」という自信が、子どもの自己肯定感を大きく育てます。

『命のブレーキ』、かかっていますか？

夏休みは、子どもたちの行動範囲がぐっと広がり、心も開放的になる時期です。だからこそ、大人たちの「見守りの目」が欠かせません。

自転車の乗り方や交通ルール、お金の使い方、そしてインターネットやSNSの利用方法。お子さんは「これ、本当に大丈夫かな？」と立ち止まる『命のブレーキ』をかけられているでしょうか。

ご家庭でもぜひ、「もし、お友達から〇〇しようと誘われたらどうする？」と具体的な場面を挙げて、一緒に考えてみてください。誰かに言われたからではなく、「自分の命と心を守るために、自分で判断する力」を、この夏休みに少しずつ育てていきましょう。

「学校、しんどいな」に気づく、小さなサイン

夏休みの後半から2学期の始まりにかけて、子どもたちの心は急激に揺れ動きます。「学校に行きたくない」「なんだか不安だな」という気持ちは、決して珍しいことではありません。

子どもの「SOS」は、言葉よりも先に体に表れることがあります。

眠れない、朝起きられない

急にイライラしたり、赤ちゃん返りのようになったりする

「お腹が痛い」「頭が痛い」と訴える

もしそんな様子が見られたら、まずは「学校が始まるのが、ちょっと心配なんだね」と、その不安をそのまま丸ごと受け止めてあげてください。

「大丈夫、何があってもお父さん・お母さんはあなたの味方だよ」というメッセージを伝えるだけで、子どもはどれほど救われるでしょう。不安なときは、どうぞ一人で抱え込まず、いつでも学校へお気軽にご相談くださいね。

「先生たち、夏休みはいいなあ」……実は！

「授業がない夏休み、先生たちは毎日お休みでいいね！」よくそんな風に言われることがあります。

実は、授業がないこの期間こそ、教職員にとって「2学期に向けた仕込み期間」です。普段はなかなか時間が取れない分、夏休み中は以下のような業務に励んでいます。

○学びを深める「研修会」

指導力を磨く授業づくりの勉強会をはじめ、生徒指導、教育相談、人権教育、ICT(パソコン等)活用、三ヶ島中学校区合同研修など、様々な研修を行い「教員としての実力」をアップデートしています。

○2学期をデザインする「教材研究・行事準備」

行事が多く学習内容も深まる2学期。子どもたちが「わかった！」「楽しい！」と思える授業づくりのため、じっくり時間をかけて準備を進めています。

○安全・快適な「環境整備と残務整理」

校内の清掃や整備、遊具や校舎の安全点検、そして1学期の事務処理など、普段の放課後だけでは追いつかない学校環境のメンテナンスを行います。

すべては、2学期の始業式に元気に登校してくる子どもたちを、最高の準備で迎えるため。子どもたちに負けないよう、教職員もこの夏、一回り「パワーアップ」してお待ちしています！